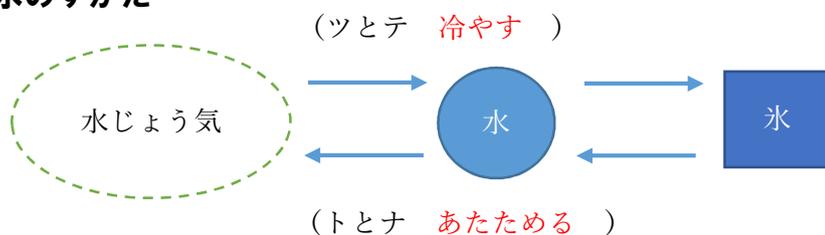


理科プリント 物のせいしつとすがたをまとめよう (3月11日)

	空気	水	金ぞく
とじこめると	おされると、体積が(ア <small>小さく</small>)なる。 おし返す力が(イ <small>大きく</small>)なる。	おされても、体積は(ウ <small>変わらない</small>)。	
体積と温度	あたためられると体積が(エ <small>大きく</small>)なる。 冷やされると体積が(オ <small>小さく</small>)なる。	あたためられると体積が(カ <small>大きく</small>)なる。 冷やされると体積が(キ <small>小さく</small>)なる。 体積の変わり方は、空気にくらべて、ずっと(ク <small>小さい</small>)。	熱せられると体積が(ケ <small>大きく</small>)なる。 冷やされると体積が(コ <small>小さく</small>)なる。 体積の変わり方は、空気や水よりも、ずっと(サ <small>小さい</small>)。
あたたまり方	あたためられると(シ <small>上</small>)に動く。 空気は動きながら(ス <small>全体</small>)があたたまる。	あたためられると(セ <small>上</small>)に動く。 水は動きながら(ソ <small>全体</small>)があたたまる。	熱せられたところから熱が伝わり、(タ <small>順【じゅん】</small>)にあたたまっていき、やがて(チ <small>全体</small>)があたたまる。

水のすがた



水, 空気, 油, 氷, 鉄, アルコール, 水じょう気 をすべて当てはめましょう。

水は熱せられて、(ニ100℃) 近くになると中からさかんにあわを出す。これを(ヌふっとう)という。
水は熱せられると、目に見えない(ネ水じょう気)にすがたをかえる。このことを(ノじょう発)という。
水は冷やされると(ハ0℃)でこおって、氷になる。氷になると温度はさらに下がる。体積は水とくらべて(ヒ大きく)なる。

	気体	液体	個体
せいしつ	自由に形を変える。	自由に形を変える。	形は変わりにくい。
おもなもの	空気, 水じょう気	油, 水, アルコール	鉄, 氷

空気, 水, 金ぞくをくらべて、同じところとちがうところを説明しましょう。

(空気, 水, 金ぞく という言葉をすべて使しましょう)

- ・ 空気も水も金ぞくもあたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなるのは同じ。
- ・ おすと空気は体積が小さくなるが、空気とちがって、水や金ぞくはおしても体積は変わらない。
- ・ あたたまり方は空気と水は似ているが、金ぞくはちがう。